山河

一般社団法人
満蒙開拓平和記念館
代表理事　寺沢秀文
〒395-0303
長野県下伊那郡
阿智村駒場 711-10
TEL　0265-43-5580

ピースサポーターニュース 2026 年秋号 第 80 号

お知らせ

【土曜セッション】
第 15 回　９月１２日(土)　和氣 慶幸さん
第 16 回１０月　３日(土)　橋本 克己さん
第 17 回１１月１４日(土)　田原 廣枝さん

【長野・広島・沖縄平和学習交流事業】
１０月２５日(日)午後１時～３時 30 分

終戦から81年目の夏に　～「語り部」の皆さんと共に

館長　寺沢秀文

終戦から81年目の今年の夏、当記念館では毎年と変わらず、満蒙開拓と平和への思いを胸に過ごす中で、いくつかの夏イベント等を開催し、多くの方にご参加頂き、また私たちとしても記憶に残る夏を過ごさせて頂くことが出来ました。

そのうち、今夏も開催した8月11日の「鎮魂の夕べ」には多くの方にご参加頂き、その後段では、長年、ご活躍頂いた「語り部」の皆さんの中からご健在の6人にお越し頂きました。そして、これまでのご尽力に感謝申し上げると共に、改めて、貴重な体験談を直接にお聞きする機会を持つことが出来ました。「語り部の会」の定期講演は一昨年暮れで一旦終止符を打ちましたが、しかし、これからも機会あればその貴重な体験談をお聞きしたいものと改めて思いました。

（慰霊祭・「語り部さんを囲む会」報告は2・3面に掲載）


語り部さんを囲んで


参加して下さった６名の語り部の皆さん

そのような中、去る8月22日～25日と、講演のために岩手県へ行く機会があり、その際に、前述の語り部6人の中のお一人の松川町増野在住の仲田武司さん（92歳）もこれに同行され、盛岡市の隣にある滝沢市の戦後開拓地を共に訪問することが出来ました。戦後、国内で新たな開拓地を求める旧上郷村（現飯田市上郷）の出身者ら45戸が、縁あって、遠く岩手県滝沢村（当時）の岩手山の山麓に集団で入植、そこに「上郷」と言う地区名を付けて戦後の生活をスタートさせました。その中には、仲田さんが渡満、参加していた「水曲柳開拓団」からの引揚者の皆さん11戸も含まれ、現地でお隣同士であったお家もおられました。仲田さんは共に水曲柳で暮らし、戦後の引揚後は会うこともなかった開拓団仲間の皆さんの暮らした北の土地への訪問をいつかは果たせたらと思っていたと言います。



幼なじみと 81 年ぶりの再会

8月24日、仲田さんは長年の念願であった滝沢の上郷の地に立ち、水曲柳でお隣同士であった山上家（現飯田市上郷飯沼出身）を訪ね、幼なじみである山上久子さんらと81年ぶりの再会を果たし、その御両親の故山上忠治・ちずるさん御夫妻のお墓参りをすることも出来ました。


戦後開拓地で暮らす方たちと懇談

私もこの滝沢には3回目の訪問になります。私も、そして仲田さんも、この岩手山を見上げる地に立ち、両親の判断次第では、あるいは自分たちもこの地に生まれ、暮らしていたかも知れないと思うと、戦後、様々な道を辿り、逞しく生き抜いてこられた先人達への思いを深くした、そんな今回の岩手訪問でもありました。

満蒙開拓の戦後は今現在にも繋がっている、そんな思いを新たにした今年の夏ではありました。